

枚方製造所

1 工場概要

- ▶ 住所 〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 1,418名 (平成25年4月1日現在)
- ▶ 敷地面積 326,880㎡(99,055坪)



2 事業概要

▶ 事業内容

- 素形材事業部門 : 研究開発／技術設計／製造
- ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- 建設機械事業部門 : 製造／営業

▶ 主要製品



MERT



ハイリフト型先行待機ポンプ



バタフライバルブ



ミニバックホー

3 工場変遷

- 昭和37年 (1962) ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始)
鋳鋼部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
- 昭和39年 (1964) 武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転
バルブ部門を枚方機械工場へ移転
- 昭和47年 (1972) 枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
- 昭和49年 (1974) 小型油圧ショベル製造開始
- 昭和54年 (1979) 大型ポンプ・建設機械専用工場完成
- 昭和56年 (1981) ソフトシール仕切弁の製造開始
- 昭和59年 (1984) 枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
- 昭和61年 (1986) ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
- 平成7年 (1995) 新素材開発部を枚方製造所に移転
- 平成11年 (1999) ISO14001認証取得
- 平成16年 (2004) リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 会長賞
- 平成17年 (2005) ISO14001(2004年度版)へ移行
エネルギー管理優良工場(熱部門) 近畿経済産業局長表彰
- 平成19年 (2007) ISO14001とOHSAS18001 マニュアル統合(OHSAS認証取得に伴う)

枚方製造所

4 環境方針

▶ ISO環境方針

基本理念

「豊かな生活と社会の基盤を支える製品・技術・サービスを通じて、社会の発展と地球環境の保全に貢献する」という経営理念に基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「先ずは安全、何より安全！」の認識の下、災害及び疾病の未然防止に取り組みます。

基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の災害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制 定 1999年 3月15日

見直し 2013年 5月 1日

株式会社クボタ 枚方製造所
製造所長 亀井 洋司

▶ ISO14001 認証取得状況

認証取得年月日：1999年9月17日

2004年度版更新年月日：2006年4月12日

審査登録機関：LRQA

枚方製造所

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2012年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO ₂ の削減	CO ₂ 排出原単位	2008	▲ 10%	▲ 18.6%	◎	
		CO ₂ 排出量	2008	▲ 10%	+0.5%	×	生産量増加のため
	物流のCO ₂ 削減	CO ₂ 排出原単位	2008	▲ 4%	▲ 17.0%	◎	
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲ 8%	▲ 29.8%	◎	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	0.5%以下	0.018%	◎	
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲ 4%	▲ 34.4%	◎	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2008	▲ 8%	▲ 34.5%	◎	

※自己評価の基準 ◎・・・目標超過達成 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

注) 環境保全中期計画のCO₂排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO₂排出係数を使用しています。

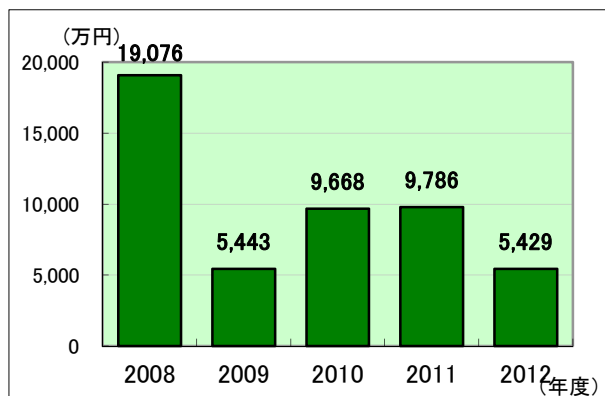
枚方製造所

6 環境会計

① 環境投資

2012年度：5,429万円

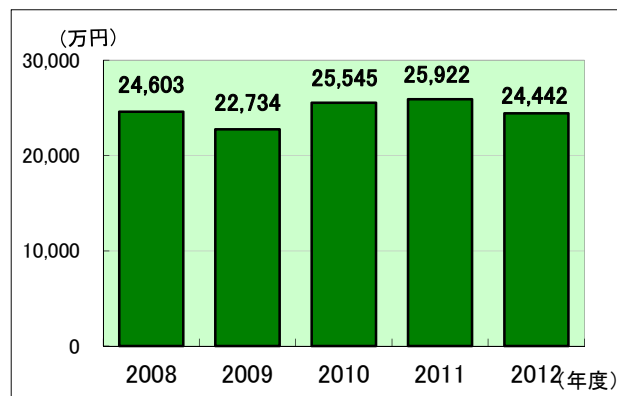
環境保全に関する投資額は約5千万円で、排ガス排気装置の設置等を行いました。



② 環境保全費用

2012年度：2億4,442万円

環境保全に関する費用は約2.4億円となり、2011年度と比べると約1.5億円減少しました。



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2011年度	2012年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算TJ)	639.1	675.7	+36.6	105.7%
	水使用量(万m ³)	18.7	17.6	▲ 1.1	94.2%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	24,449	32,377	+7,928	132.4%
	SO _x 排出量(t)	-	-	-	-
	NO _x 排出量(t)	3.0	3.5	+0.5	116.4%
	ばいじん排出量(t)	0.6	0.5	▲ 0.1	86.3%
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	87.4	73.6	▲ 13.8	84.2%
	廃棄物排出量(t)	3,728	3,975	+247	106.6%
廃棄物埋立量(t)	38	1.3	▲ 36.7	3.5%	

④ 経済効果

2012年度：1億3,922万円

環境保全活動に伴う経済効果は1億3,922万円となりました。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	塗装設備脱臭装置の改善、等	1,191 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物の売却	12,731 万円
合計		13,922 万円

枚方製造所

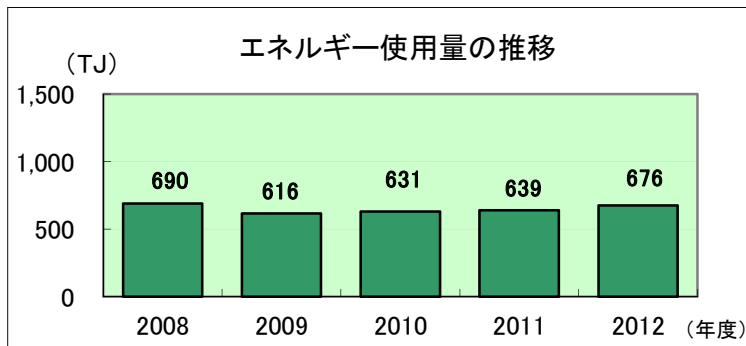
7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

省エネルギー活動

エネルギー使用量は、前年度より5.7%増の676(TJ)となりました。

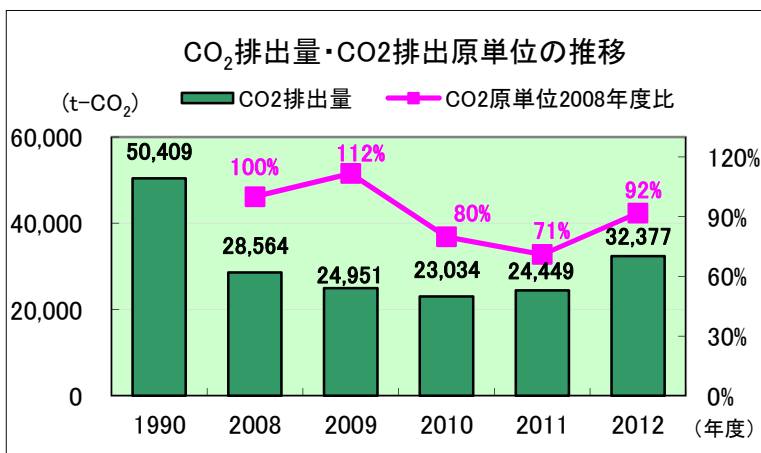
CO₂原単位は、省エネ活動の成果及び増産により、2008年度比 8%減となりました。



CO₂排出量の削減

CO₂排出量は2008年度より13%増加し、3.2万t-CO₂となりました。

1990年度比では36%減となっています。



※CO₂原単位2008年度比: 2008年度の生産金額ベースのCO₂原単位を100とした場合の割合

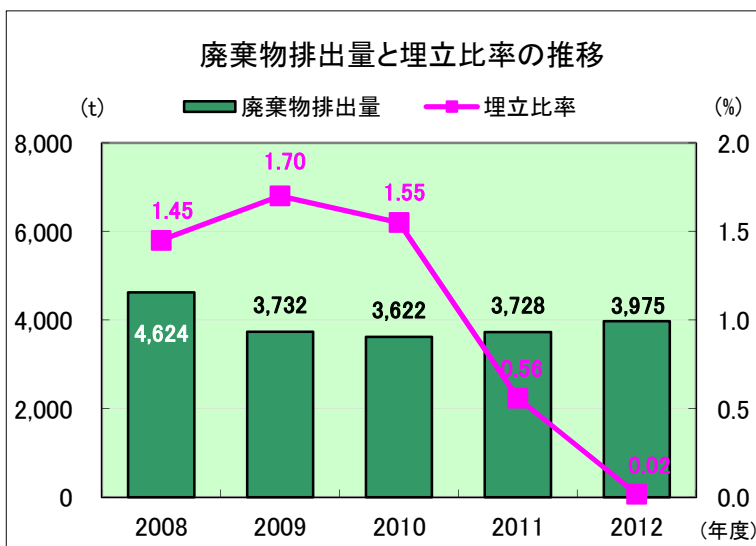
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、排出量削減の取り組みの成果により、増産だったものの2008年度比14%減となりました。

ゼロ・エミッション化

再資源化の取り組みにより2012年度は埋立比率0.018%となり、2008年度と比べて1.43ポイント下がりました。



注:埋立比率(%)=(直接埋立量+中間処理後最終埋立量)÷(有価物量+廃棄物排出量)

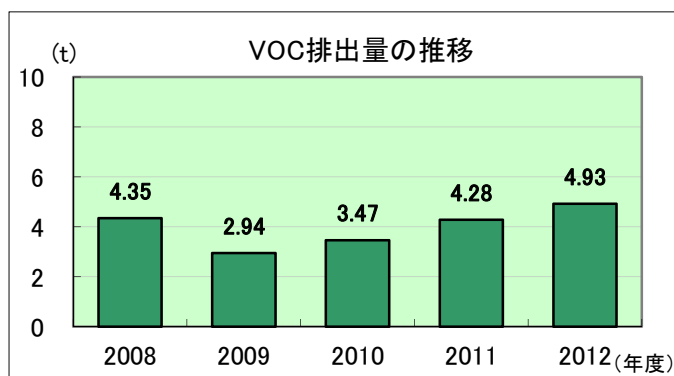
枚方製造所

③ 有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減

VOC発生施設全てに除害設備を設け、適正に管理しています。

VOC排出量は増産の影響もあり、2008年度比で13%増加しました。



PRTR法対象物質の排出量・移動量

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	1,319	0.0	0.0	0.0	0.0	17,335
80	キシレン	2,114	0.0	0.0	0.0	0.0	26,584
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,505
132	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	165	0.0	0.0	0.0	0.0	2,213
300	トルエン	1,327	0.0	0.0	0.0	0.0	15,122
308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
405	ほう素及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,871
453	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

環境TOPICS

鋳物砂の人工砂化によるPRTR法対象物質(クロム)の排出移動量の削減

- 作業環境改善を目的に鋳物砂を珪砂から人工砂への転換を進めてきたところ、肌砂として使用してきたクロマイトサンド(クロム含有33%)の代替材としても適用可能と判明し、置注用鋳物砂を全面的に人工砂へと切り替えました。

クロマイトサンド(クロム含有33%)の使用実績 : 20,000kg(2011年度)→0kg(2012年度)

PRTR法対象物質(クロム)の排出移動量 : 6,600kg(2011年度)→0kg(2012年度)

- この結果、枚方製造所全体のクロム及び3価クロム化合物(PRTR法対象物質)の排出移動量を前年度比73%削減(9,392kg(2011年度)→2,505kg(2012年度))とすることが出来ました。

枚方製造所

8 環境コミュニケーション

① 地域美化活動

2012年 5月 19日	クボタeディ及び地域クボタ会ボランティア & ウォーク	532人
2012年 6月 他3回	製造所周辺清掃活動	145人
2012年 8月 3日	「クールダウンひらかた打ち水大作戦」	5人
2012年 11月 3日	天の川大掃除	19人



クボタeディ及びボランティア & ウォーク



クボタeディ及びボランティア & ウォーク



打ち水大作戦



天の川大清掃

枚方製造所

9 サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	17,434
水使用量	万m ³	17.6

OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	32,377
---------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		No.3焼鈍炉			機械吹付塗装脱臭装置			No.2吸収式冷暖房機		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制とも	m ³ N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	総量規制	m ³ N/h	総量規制	1.189	0.062	総量規制	1.305	0.073	総量規制	0.082	0.009
	濃度規制	ppm	濃度規制	180	54.0	濃度規制	230	33.1	濃度規制	150	26.0
ばいじん	濃度規制	g/m ³ N	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.05	測定なし

排水量	公共用水域	万m ³	26.2
	下水道	万m ³	—
汚濁負荷量	COD	kg/年	771
	窒素	kg/年	942
	りん	kg/年	74

※排水量に雨水を含んでいます

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	5.8~8.6	7.1, 7.3
		BOD	mg/l	25	4.3
		COD	mg/l	25	5.1
		窒素	mg/l	120	5.9
		りん	mg/l	16	0.39
		六価クロム	mg/l	0.05	不検出
		鉛	mg/l	0.01	不検出
		COD総量規制値	kg/日	38.0	2.11
		窒素総量規制値	kg/日	38.3	2.58
		りん総量規制値	kg/日	4.4	0.20
下水道		pH	—	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	3,975
埋立比率	%	0.018